

計画事業番号	00074	事務事業名	障がい者自動車運転免許取得・改造事業	担当部署	保健福祉部福祉課	電話	812
--------	-------	-------	--------------------	------	----------	----	-----

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	障害者総合支援法、北広島市地域生活支援事業実施要綱				
事務事業開始年度	平成5年度	個別計画等	北広島市障がい支援計画【北広島市障がい者福祉計画・第4期障がい福祉計画】				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 1 章) 支えあい健やかに暮らせるまち						
	(第 4 節) 障がい福祉の充実						
	(施策 1) 地域生活支援の充実						
2 対象	身体障害者手帳4級以上、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している方（免許取得） 重度の肢体不自由者で就労等に伴い、自動車改造が必要な方（自動車改造）						
3 目的と内容	障がい者の社会参加の促進、就労支援を図るため、自動車運転免許取得や自動車の改造に要する経費への助成を行う。 【前回推進計画からの変更点】 変更なし						
4 実施内容 (手段)	27年度まで	自動車運転免許取得:自動車運転免許(道路交通法第84条に規定する運転免許(仮免許を除く))の取得に要する費用の一部を助成(上限10万円) 自動車改造:普通自動車の操向装置及び駆動装置の改造に要する費用の一部を助成(上限10万円)					
	28年度	同上					

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
障がい者の自動車運転免許取得や自動車の改造を支援	自動車の改造助成1件(10万円)	障がい者の自動車運転免許取得や自動車の改造を支援	障がい者の自動車運転免許取得や自動車の改造を支援	障がい者の自動車運転免許取得や自動車の改造を支援	障がい者の自動車運転免許取得や自動車の改造を支援	障がい者の自動車運転免許取得や自動車の改造を支援	障がい者の自動車運転免許取得や自動車の改造を支援

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性			評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。			「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	自動車免許の取得や自動車の改造にかかる必要な支援は、障がい者の自立した日常生活を送るために欠かせないものであり、継続してサービスを提供する。			
2次評価	現状継続	現状継続とする。			

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			100	200	200	200
事業額	直接事業費	国支出金	34	63	58	57
		道支出金	20	33	30	30
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0
		一般財源	46	104	112	113
		① 合計	100	200	200	200
	人件費	② 人数(年間)	0.01	0.01	0.01	0.01
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	90	90	90	90
総事業費①+④			190	290	290	290

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	①利用件数	件	目標値 2	2	2	2
			実績値 1			
	②		目標値			
			実績値			
成果指標	① 一件当たりコスト	千円	目標値 100	100	100	100
	【決算額/利用件数】		実績値 100			
	②		目標値			
	【指標の定義(算式等)】		実績値			
	③		目標値			
	【指標の定義(算式等)】		実績値			

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	障がい者の自立した日常生活を支援するものであり妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	目標件数には達していないが、社会参加の促進が図られている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	新たに障がいを持った方や、免許取得可能年齢に到達した障がい者への制度周知の促進を図る必要がある。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	補助金額の上限設定をしており、現時点においては余地はない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--